

## 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

### 経済開発区法採択

2013年6月5日発『朝鮮中央通信』によれば、同年5月29日、最高人民会議常任委員会政令で「朝鮮民主主義人民共和国経済開発区法」が採択された。同法は7章62条（別途付則2条）で構成され、管理主体別に地方級経済開発区と国家級経済開発区の2つの類型があると規定している。経済開発区の内容としては工業開発区、農業開発区、観光開発区、輸出加工区、先端技術開発区が予定されている。また、開発区における商品やサービスの価格については「国際市場価格にしたがい、当事者が合意して定める」（第43条）との規定がある。

ERINAのこれまでの調査によれば、すでに16の開発区の申請がなされ、そのうち14の開発区の承認が出たとのことである。

### 金正恩第1書記がアピール文を発表

2013年6月5日発『朝鮮中央通信』によれば、前日の6月4日、金正恩第1書記は全軍人と人民に向けて「『馬息嶺速度』を創造して社会主義建設のすべての戦線で新たな全盛期を切り開こう」と題するアピール文を発表した。

アピール文では、馬息嶺スキー場建設において発揮されている軍人たちの不屈の闘争精神、闘争気風を見習って、全国に大革新、大飛躍の炎を起こそうというのが朝鮮労働党の意図であり決心であると強調している。

北朝鮮では、大規模な建設工事には朝鮮人民軍の軍人が動員されることが多く、これまでの有名な建築物の多くが軍人によって建設されている。

### 金策工大IT研究所、水害対策支援システム開発

『朝鮮新報』2013年7月16日付によれば、金策工業総合大学情報技術（IT）研究所の科学者が洪水による浸水被害の対策を事前に立てるためのソフトウエアを開発した。科学者は、数年前から国の全般的な地域を洪水から守ることができる支援システムを完成する事業に着手し、大同江流域に関する数十年間の気象学および水文学上の資料を全面的に調査、分析し、衛星資料と地形図による3次元地理情報システム（GIS）を構築したとのことだ。また、資料の正確性を保証するために大雨で水位が急激に上昇する多くの島に向いて浸水座標の確定なども行ったとのことである。

このようにして開発された支援システムはこれまで、鴨緑江河口と清川江流域をはじめ洪水危険地域で被害を減らすのに寄与したとのことだ。

### 端川製錬所に酸化亜鉛生産工程

『朝鮮新報』2013年7月26日付によれば、端川製錬所（咸鏡南道）に副産物を回収して再利用する大規模な酸化亜鉛生産工程が新設され、これに基づく造液工程の第1段階の改修も終えたようだ。

同紙によればこの工程は、ぼた（選鉱後に残る岩石）を再処理して酸化亜鉛を量産し、亜鉛の実収率を伸ばすことで、資源を無駄なく利用して良質の非鉄金属の生産を画期的に増やすことを目標にした設備であるようだ。

### 北朝鮮で最高雨量を記録

『朝鮮新報』2013年8月7日付によれば、同年7月に北朝鮮ではこれまでの記録を更新する大雨が降った。全国の気象観測地点から送られてきたデータを総合すると、平均降水量は651ミリに達した。これは7月平均の2.5倍。これまでの7月の最高雨量は、1963年の460ミリだったようだ。

平安北道雲山郡1,598ミリ、東倉郡1,236ミリ、泰川郡1,225ミリ、江原道洗浦郡1,225、平康郡1,216ミリ、慈江道東新郡1,214ミリなど、20の観測地点で年平均の90%の降水量を記録したとのことである。この記録的な大雨により、各地で被害が拡大しているとのことである。

### マスゲーム「アリラン」7月22日に開幕

2013年7月22日発『朝鮮中央通信』によれば、大マスゲーム・芸術公演「アリラン」が同日、平壤のメーデースタジアムで開幕する。朝鮮戦争の「戦勝60周年」の今年の内容は、同年7月18日付『朝鮮新報』によれば、「今回の公演の特徴は、朝鮮戦争時で当時世界最強を誇っていた米国に打ち勝って類例のない軍事的奇跡を創造した金日成主席の不滅の戦勝業績を叙事詩のようなシーンで見せること」だそうだ。

### 第3回羅先国際商品展覧会開催

第3回羅先国際商品展覧会が2013年3月19日～23日、羅先市の羅先展示館で開催された。北朝鮮、中国、ロシア、台湾、米国、日本などから100余の企業や団体が参加し、電気・電子製品、軽工業品、食料および医薬品、水産加工品、家庭用品など各種商品が展示され、連日多くの羅先市民や外国人ビジネスマンで賑わった。

ERINAも調査研究の一環として展示会に参加したが、連日多くの羅先の一般市民と交流し、羅先市民の北東アジア経済交流の拡大、日本との経済交流復活への想いを感じることができる、有意義な体験となった。

（ERINA調査研究部長・主任研究員 三村光弘）